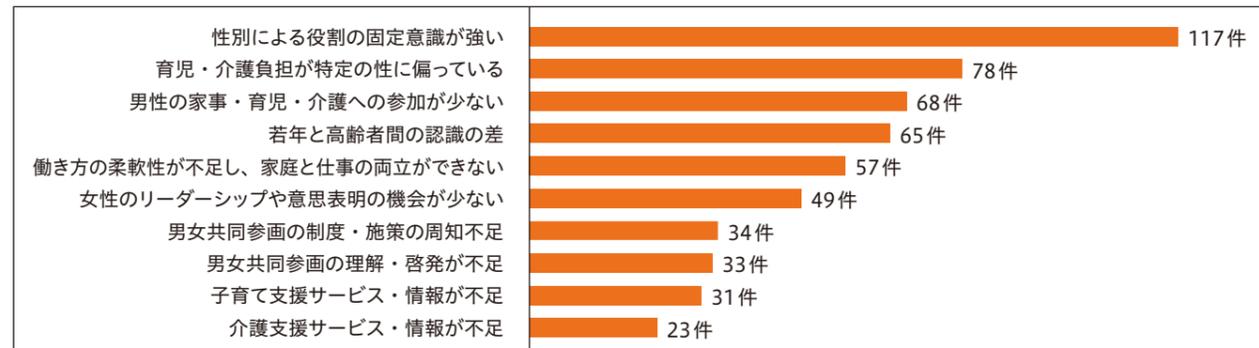


# なぜ今、男女共同参画が大切なのか、 アンケートの「数字」と「声」から考える

## 見えにくいけれど、最も大きな壁

下のグラフは男女共同参画で特に改善が必要だと思う課題を3つ選択してもらったアンケート結果です。最も多く挙げられた課題は、「性別による役割の固定意識が強い」という点でした。たとえば、「家事や育児は女性がするもの」「男性は仕事を優先すべき」、こうした考え方は、誰かに強制されたものではなく、長い時間をかけて「当たり前」として身についたものであることが少なくありません。その結果、「しかたなく役割が決まっている」「気づくと同じ人に任せきりになっている」といった形で、一人ひとりの選択肢を狭めてしまうことがあります。



## 自由記述に寄せられた声

「男女共同参画を進めることで、逆に生きづらくなるのでは」「能力に応じた評価が大切で、性別で区切るのは違うと思う」など、自由記述欄にもさまざまな声が寄せられました。こうした声からは、男女共同参画が「誰かを無理に変えるもの」「どちらかを優遇するもの」と受け取られている現状も見えてきます。一方で、「性別に関係なく、自分に合った生き方を選べる社会になってほしい」「まず市民の意識、学ぶ姿勢が大事」といった前向きな意見も多く寄せられています。

## 男女共同参画が目指していること

男女共同参画は、「男女を同じにすること」や「どちらかを優遇すること」ではありません。目指しているのは、性別に関わらず、一人ひとりが自分の希望や能力に応じて、生き方を自由に選べる社会です。それは、「働き方」「家庭での役割」「地域との関わり方」などを、自分で選べるということでもあります。



## 世代を超えて考えるために

アンケートでは、「若い世代と高齢世代で考え方に差がある」という声も多く寄せられました。どちらが正しい、間違っている、という話ではなく、時代や経験の違いによって、感じ方が異なることが背景にあります。だからこそ、お互いの考えを知り、話し合うことが大切だといえます。

## 明日はもっと自由に。

この言葉には、誰かと比べるのではなく、誰かの期待に合わせるのではなく、自分らしい選択ができる社会であってほしいという思いが込められています。男女共同参画は、特別な人のためのものではありません。私たち一人ひとりが、「これって当たり前?」と立ち止まって考えることから始まります。まずは、家庭や職場、地域で、このアンケート結果を話題にしてみませんか。

# 特集 明日はもっと自由に。

～「当たり前」って何だろう?アンケート結果から考える男女共同参画の「いま」～

企画課地域振興班 ☎22-9105



「男女共同参画」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか。

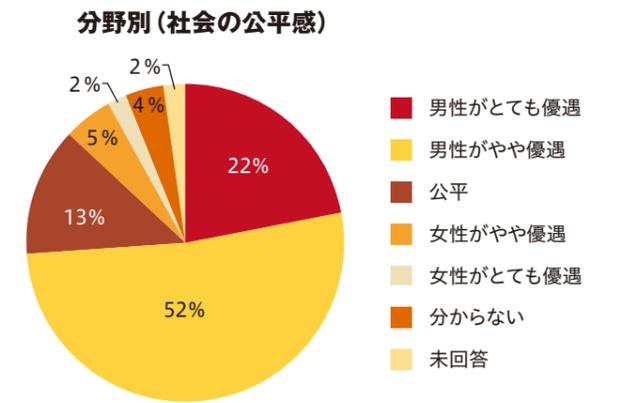
「男女共同参画社会」という言葉自体は、ほとんどの人が一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。一方で、その内容までよく知っている人は、決して多くありません。そこで平戸市民の皆さんの率直な声を聞き、男女共同参画に関する意識や生活の実態を把握し、今後のまちづくりに生かすため、アンケートを実施しました。

## 社会の中で感じる「公平感」

「社会は男女平等だと思いますか」という問いに対し、アンケートでは多くの方が「男性が優遇されている」と感じていることが分かりました。

特に割合が高かったのは、「社会通念や慣習、しきたり」や「政治・行政の場」といった分野で、日常生活や意思決定の場面において、性別による役割意識や機会の差を感じている人が多いことがうかがえます。

また、男女別に見ると、女性の方がより強く「男性優遇」を感じている傾向が見られました。性別やこれまでの経験の違いによって、社会の見え方に差が生じていることが、この結果から読み取れます。



## 家庭の中での役割分担

共働き世帯の家事・育児・介護の分担についてのアンケート結果を見ると、「ほとんど女性」「どちらかといえば女性」と回答した人が多く、家庭内の負担が依然として女性に偏っている実態が分かりました。

特に「食事の支度」や「洗濯」といった毎日の家事では、その傾向が顕著で、無意識のうちに役割が固定化している状況がうかがえます。

一方で、若い世代を中心に「男女で同じくらい分担している」という回答も一定数見られ、家庭内での役割分担に対する意識が少しずつ変化し始めているようです。

